

在宅生活改善調査

調査の対象

横須賀市内のすべての居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所

実施期間：令和4年11月16日～令和5年1月31日

発送事業所数：133件

事業所票回収数：103件（回収率 77.4%）

調査の目的

- ・在宅生活改善調査では、過去1年で在宅生活ではなくなった利用者と、現在居宅サービスを使用しながら自宅等※にお住まいの方で、「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」の、①人数、②生活の維持が難しくなっている理由、③生活の改善のために必要な支援・サービス等を把握します。
- ・そして、調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じ、住み慣れた地域での生活の継続性を高めるために必要な支援やサービス、連携のあり方を検討し、介護保険事業計画に反映していくことを目的としています。

※自宅等及びサ高住、住宅型有料老人ホーム、軽費老人ホームを「在宅」とする

調査の概要

- ・アンケートは、事業所票を居宅介護支援事業所の管理者の方に、利用者票を居宅介護支援事業所のケアマネジャーの方にご回答いただきました。各ケアマネジャーは担当する利用者について、上記の「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている方」を抽出し、その概要を回答しました。
- ・それぞれのケアマネジャーが判断する、「生活改善に必要な支援・サービス」が「地域に不足する支援・サービス」である、という考え方が基礎にあります。
- ・本調査の集計では、「特養待機者」「その他施設等の待機者」「在宅サービス待機者」という言葉を使用していますが、これは特養のみでなく、その他のサービスの待機者についても同じように把握し、整備の必要性を検討するためのものです。

注目すべきポイント

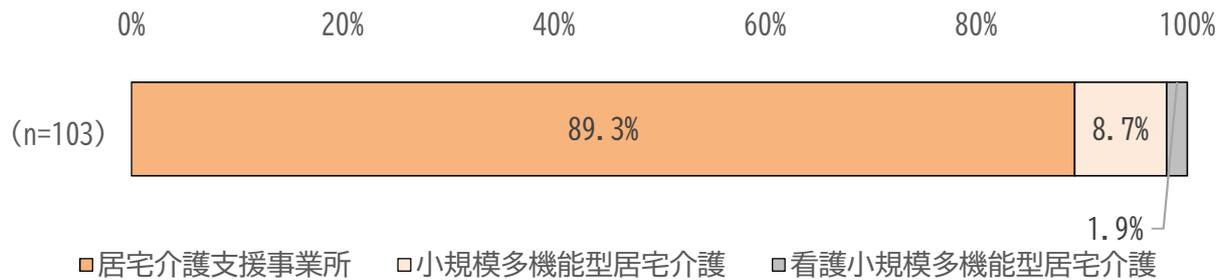
- ・過去1年間で、自宅等から居所を変更した人（住み慣れた住まいで暮らすことができなくなった人）は、どの程度いるか？
- ・現在、生活の維持が難しくなっている人は、どのような人で、どの程度いるか？（継続的に調査し、その人数を減らすことはできないか）
- ・生活の維持が難しくなっている理由、生活改善に必要な支援・サービスは何か？（サービス提供体制の構築方針の検討）

1. 調査の結果

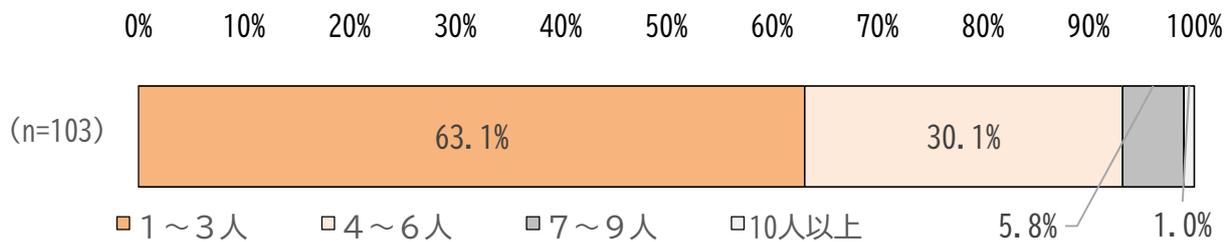
回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

(1) 基礎情報

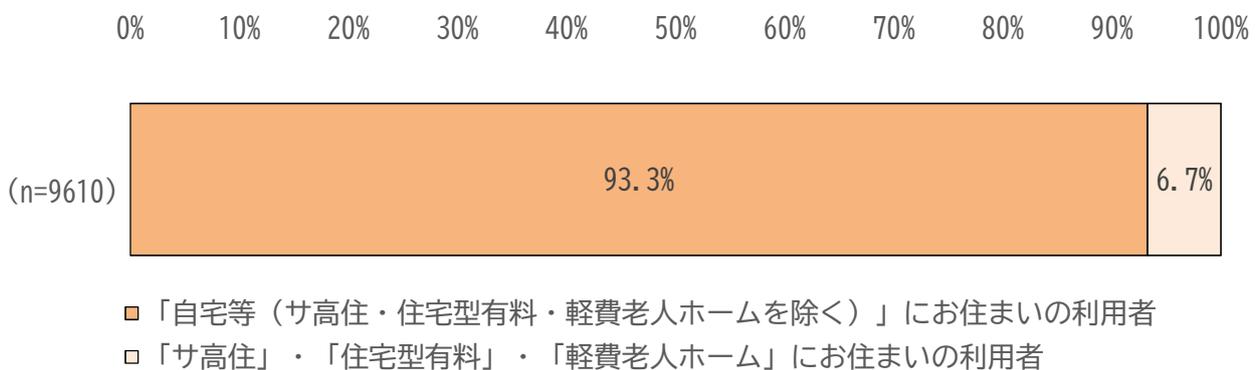
① 回答事業所のサービス種別割合



② 所属するケアマネジャーの数



③ 利用者の居住地



(2) 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者について

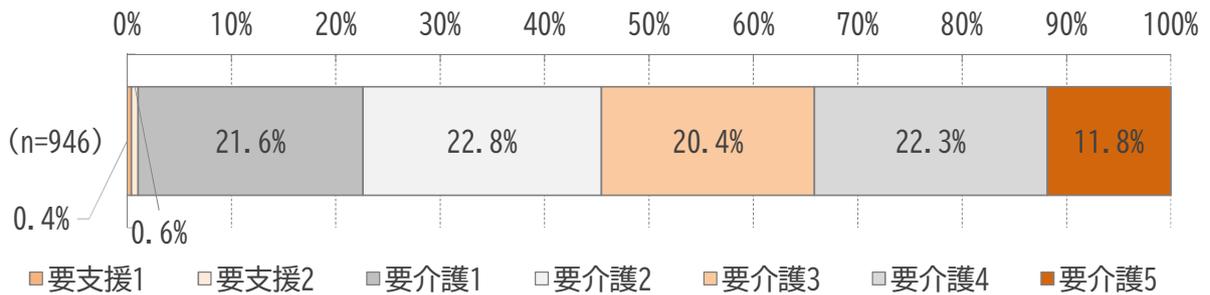
① 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の行先別の人数

行先	市区町村内	市区町村外	合計
兄弟・子ども・親戚等の家	19人	27人	46人
	2.0%	2.9%	4.9%
住宅型有料老人ホーム	101人	22人	123人
	10.7%	2.3%	13.0%
軽費老人ホーム (特定施設除く)	5人	1人	6人
	0.5%	0.1%	0.6%
サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設除く)	43人	12人	55人
	4.5%	1.3%	5.8%
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	54人	8人	62人
	5.7%	0.8%	6.6%
特定施設入居者生活介護	52人	17人	69人
	5.5%	1.8%	7.3%
地域密着型特定施設入居者生活介護	0人	0人	0人
	0.0%	0.0%	0.0%
介護老人保健施設	147人	19人	166人
	15.5%	2.0%	17.5%
介護療養型医療施設・介護医療院	0人	8人	8人
	0.0%	0.8%	0.8%
上記を除く病院・診療所 (一時的な入院を除く)	85人	10人	95人
	10.7%	1.0%	10.0%
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	222人	9人	231人
	23.5%	1.0%	24.4%
地域密着型介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	0人	2人	2人
	0.0%	0.2%	0.2%
その他	68人	10人	78人
	7.2%	1.0%	8.2%
把握していない			5人
			0.5%
合計	796人	145人	946人
	84.1%	15.3%	100.0%

(注1) 過去1年間とは、令和3年10月1日～令和4年9月30日とします。(以下、本調査については同じ扱いとします)

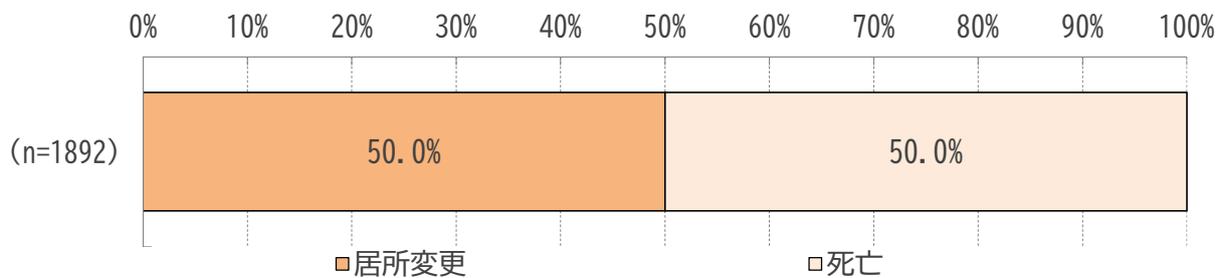
(注2) 「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。

② 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の要介護度の内訳



(注)「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。また、死亡した方は集計から除いています。

③ 過去1年間の居所変更と自宅等における死亡の割合



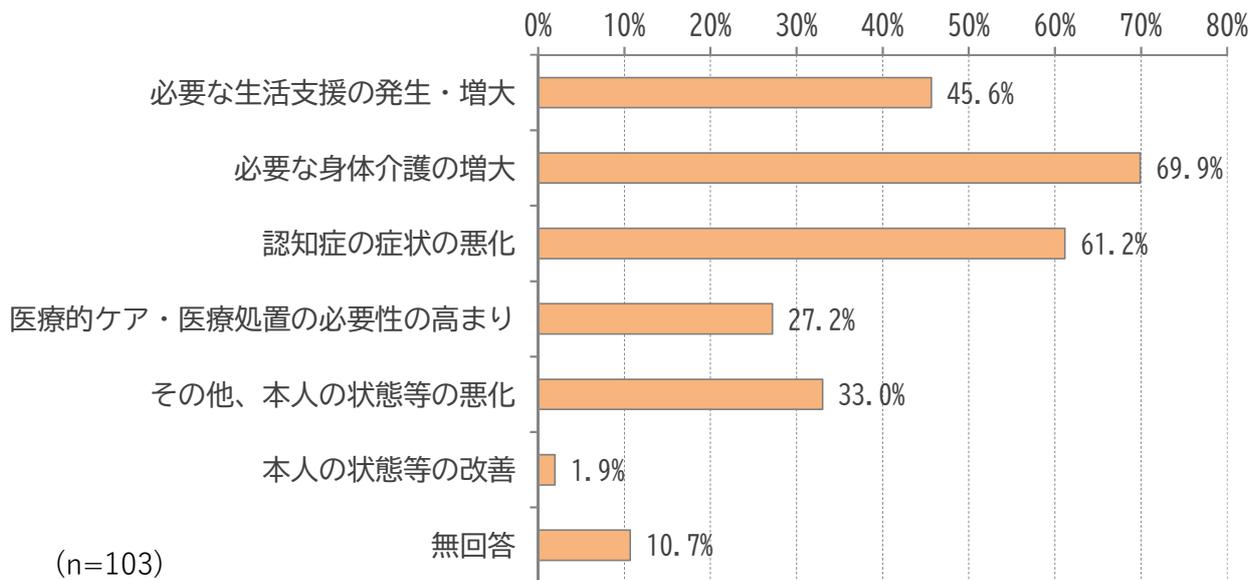
横須賀市全体で、過去1年間に
自宅等から居所を変更した利用者数（粗推計） ➡ 1,222 人

横須賀市全体で、過去1年間に
自宅等で死亡した利用者数（粗推計） ➡ 1,222 人

(注1)「自宅等」には、サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームを含めていません。

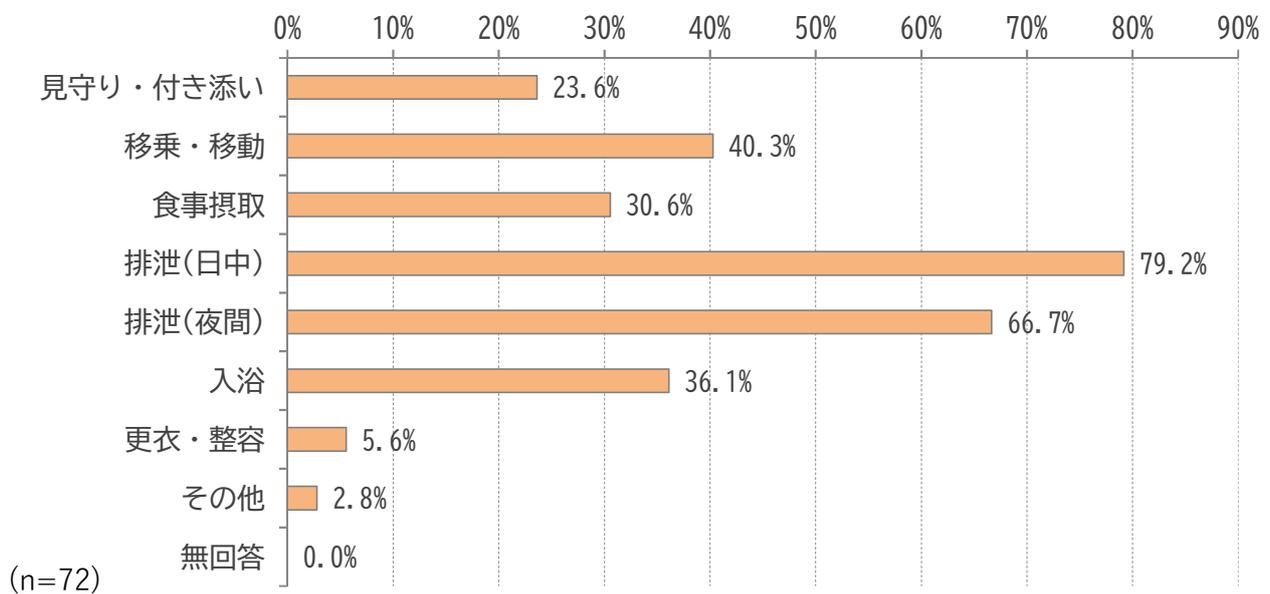
(注2)「粗推計」は、居所を変更した利用者数や自宅等で死亡した利用者数に、回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

④ 過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者の変更した理由（3つまで）



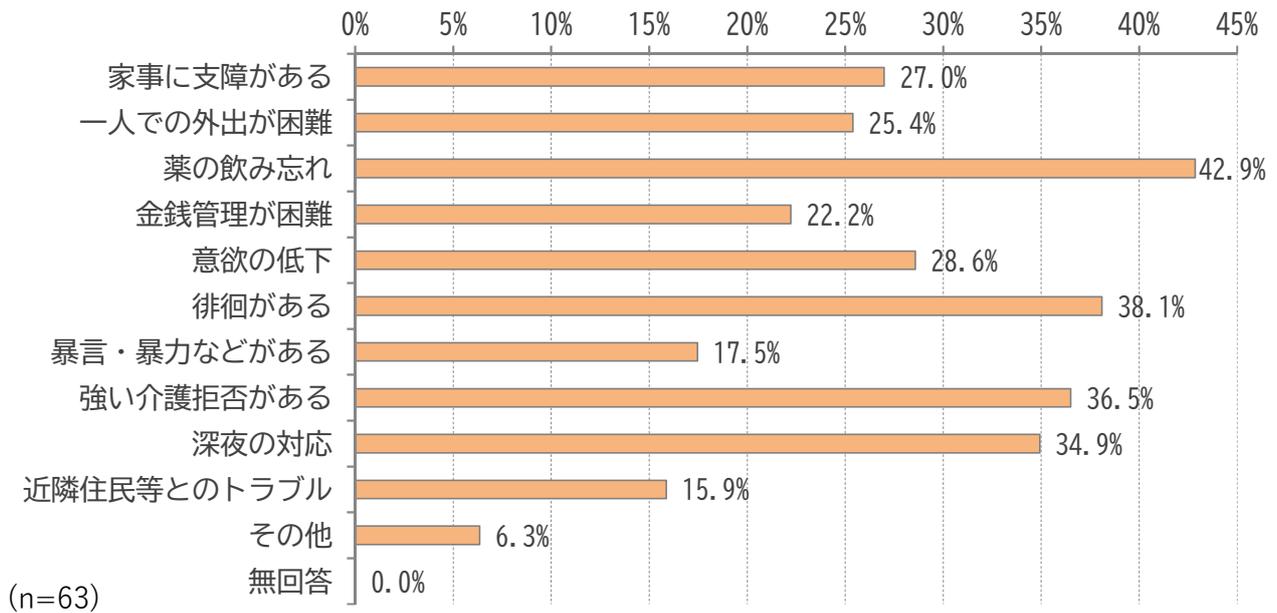
(注) 居場所を変更した人毎の回答ではなく、事業所毎に上位3位まで回答した結果です

⑤ 「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な内容（3つまで）



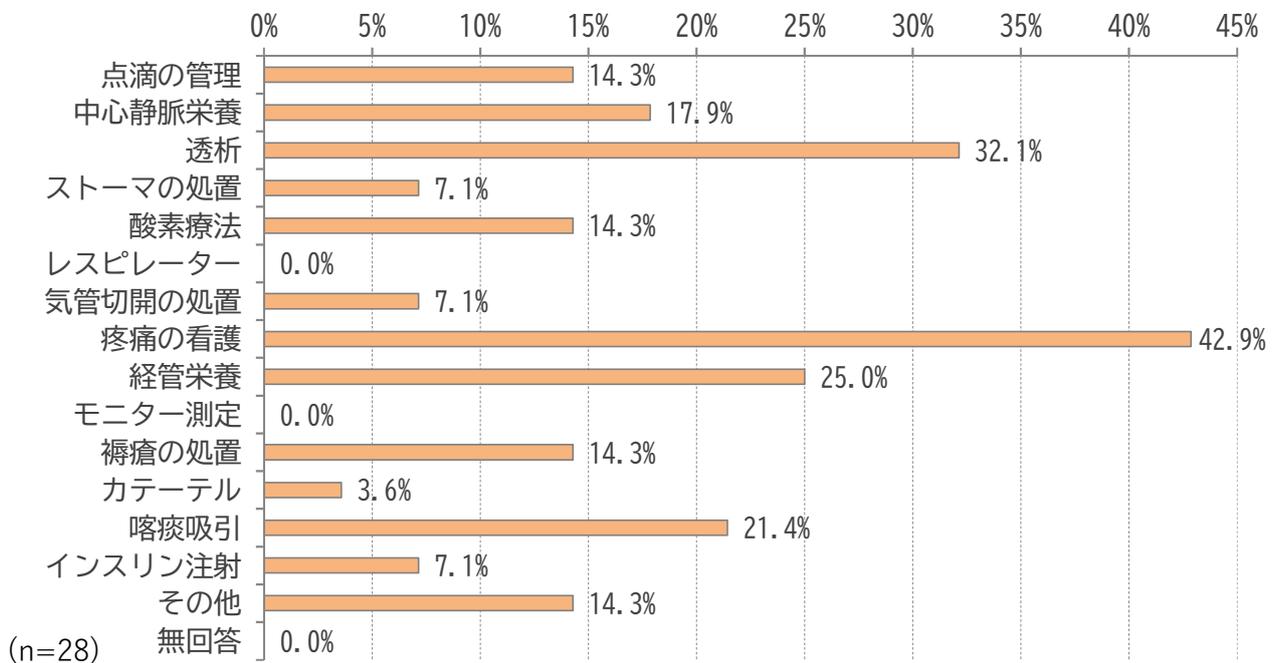
(注) 居場所を変更した人毎の回答ではなく、事業所毎に上位3位まで回答した結果です

⑥ 「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な内容（3つまで）



(注) 居場所を変更した人毎の回答ではなく、事業所毎に上位3位まで回答した結果です

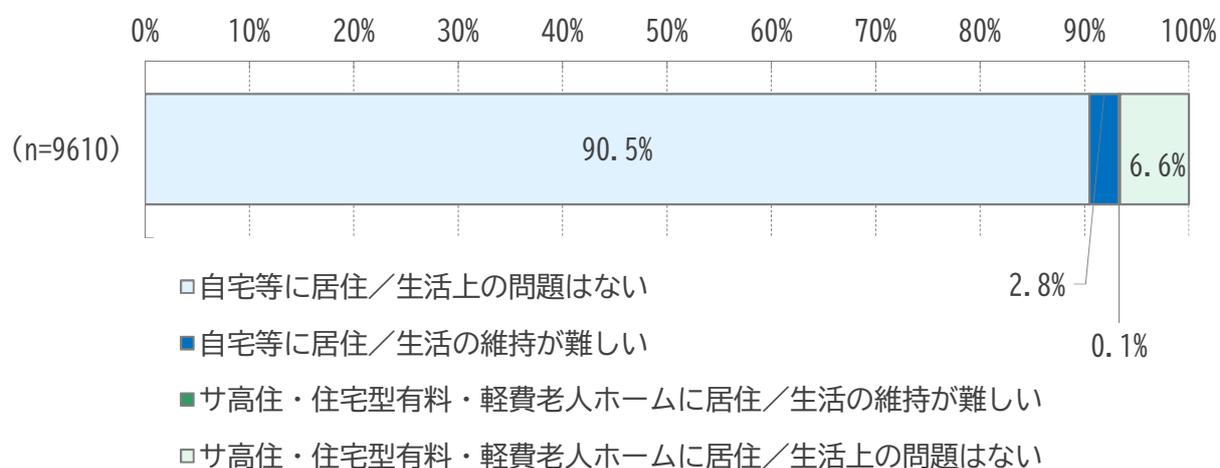
⑦ 「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な内容（3つまで）



(注) 居場所を変更した人毎の回答ではなく、事業所毎に上位3位まで回答した結果です

(3) 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者について

① 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の割合と人数



自宅・サ高住・住宅型有料・
軽費老人ホームに居住する利用者のうち、
生活の維持が難しくなっている割合



2.9%

横須賀市全体で、在宅での生活の維持が
難しくなっている利用者数（粗推計）



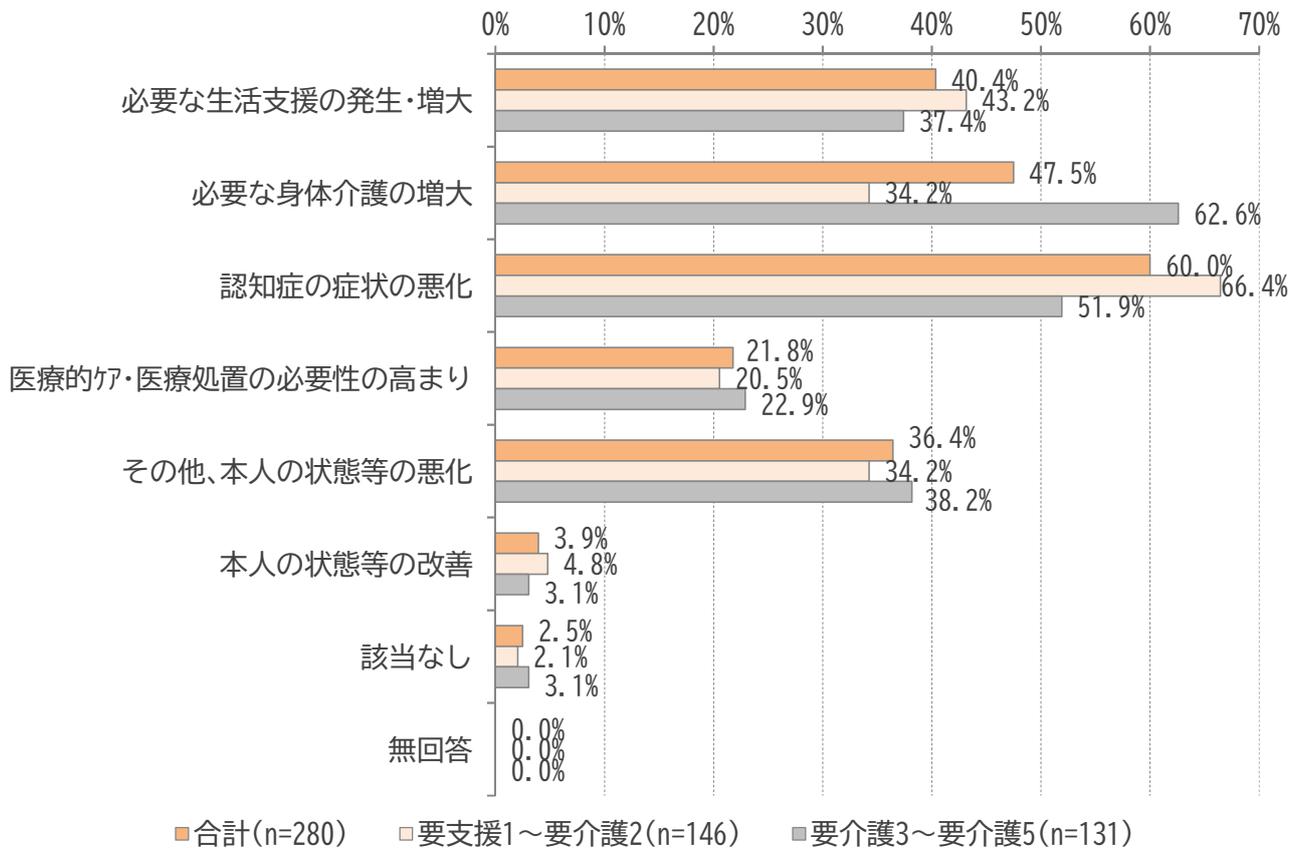
362 人

② 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

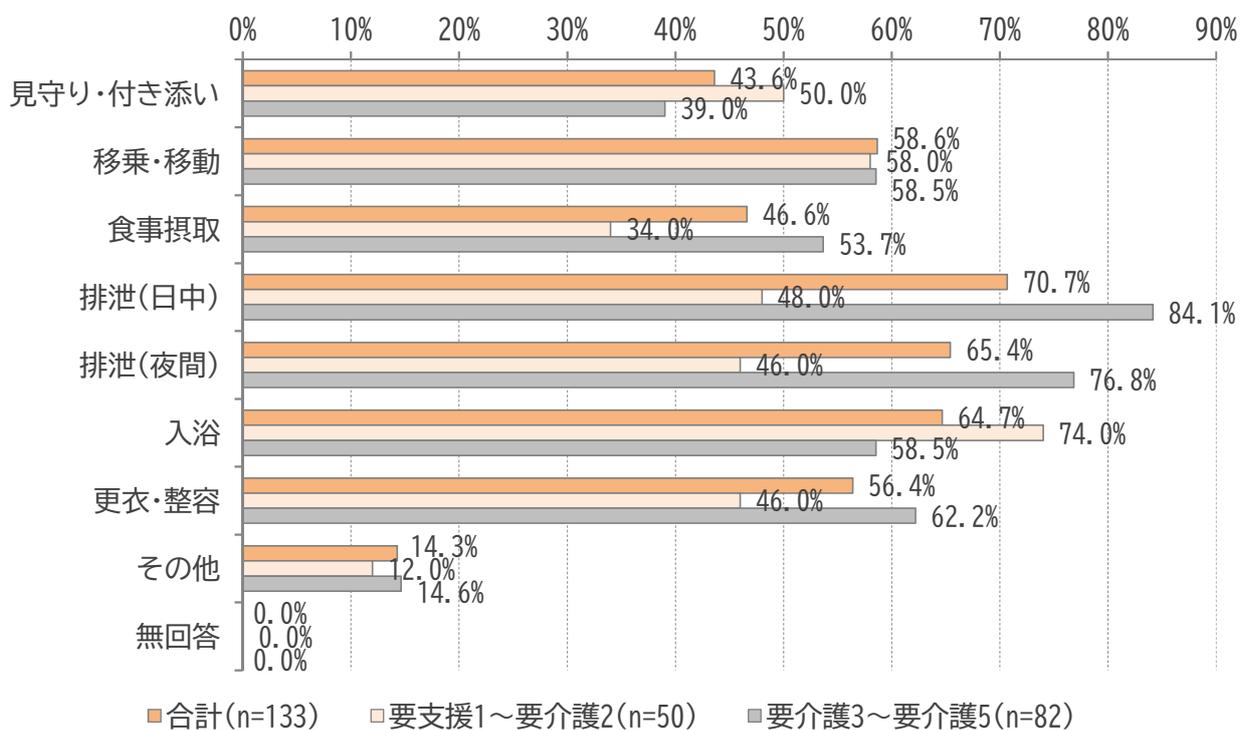
順位 (上位10類型)	回答数	粗推計	割合	世帯類型				居所			要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他世帯	自宅等 (持ち家)	自宅等 (借家)	サ高住・住宅型有料・軽費	介2以下	介3以上
1	54人	70人	19.3%	★				★			★	
2	32人	41人	11.4%		★			★				★
3	25人	32人	8.9%		★			★			★	
3	25人	32人	8.9%	★					★		★	
5	22人	28人	7.9%	★					★			★
6	21人	27人	7.5%				★	★				★
6	21人	27人	7.5%			★		★				★
8	15人	19人	5.4%				★	★			★	
8	15人	19人	5.4%	★				★				★
10	11人	14人	3.9%			★		★			★	
上記以外	39人	53人	13.9%									
合計	280人	362人	100.0%									

(注)「粗推計」は、回答数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。また、「上記以外」には、要介護度が「新規申請中」の方や属性が不明な方を含めています。

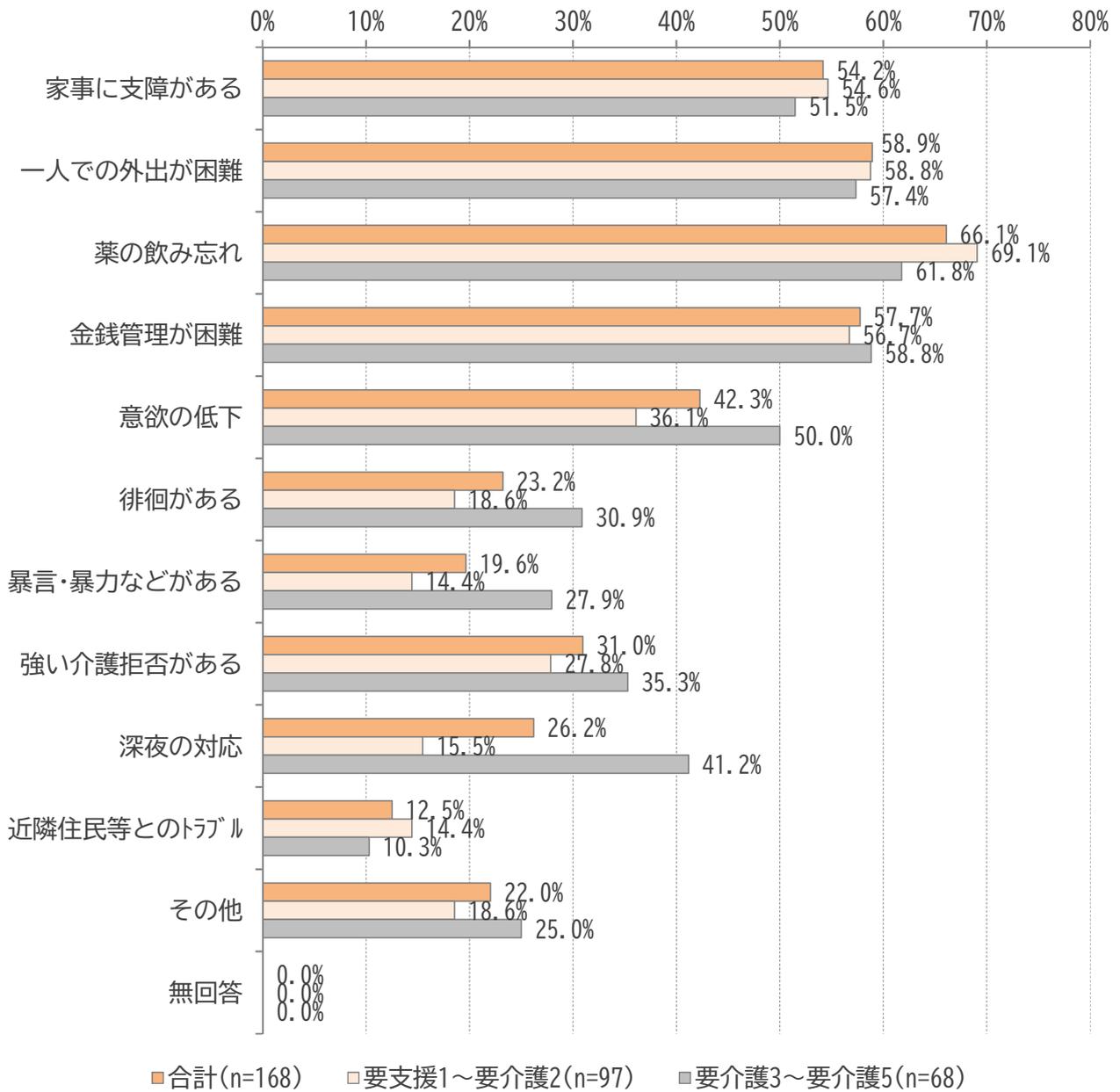
③ 生活の維持が難しくなっている理由（本人の状態に属する理由、複数回答）



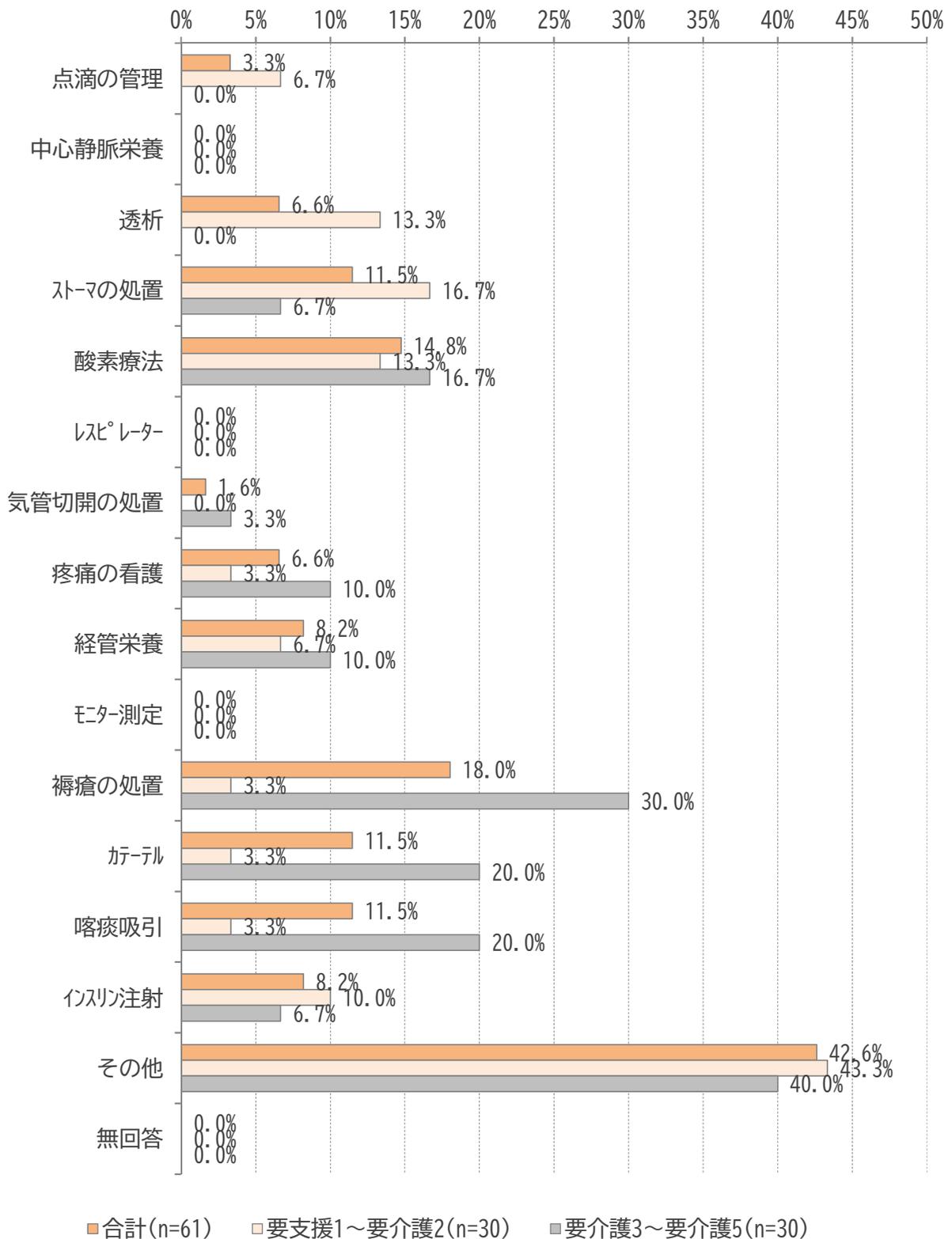
④ 「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



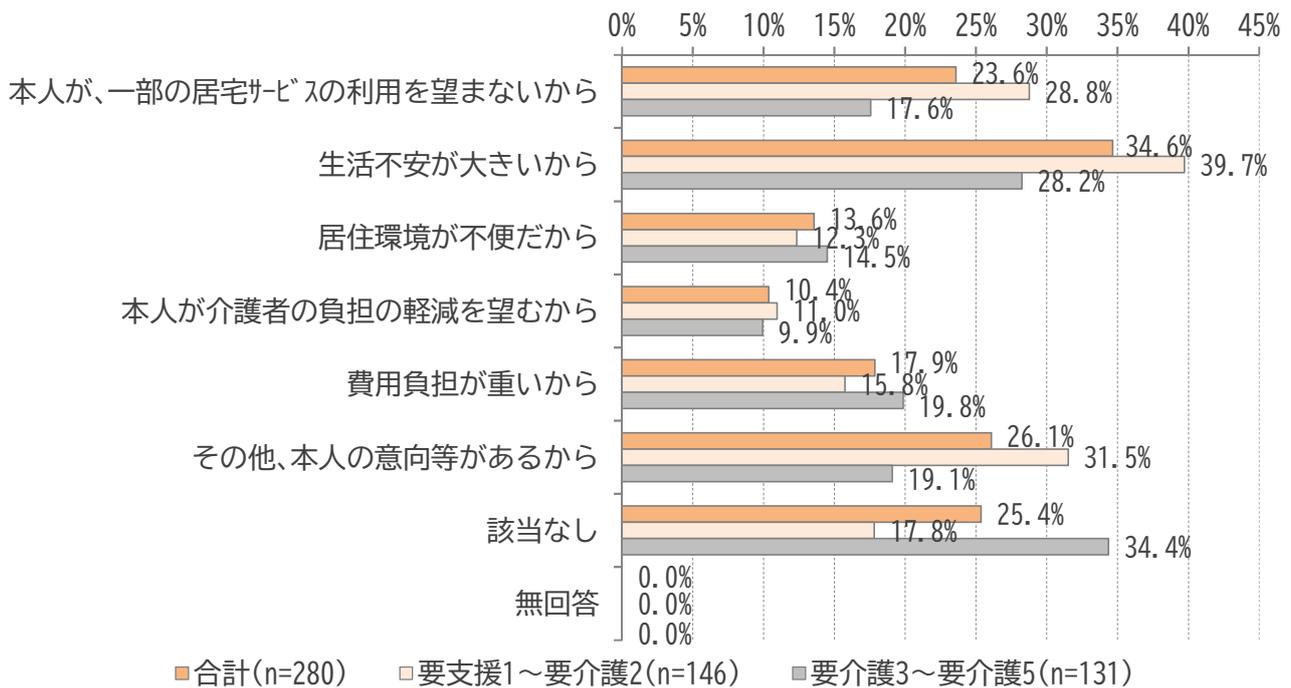
⑤ 「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



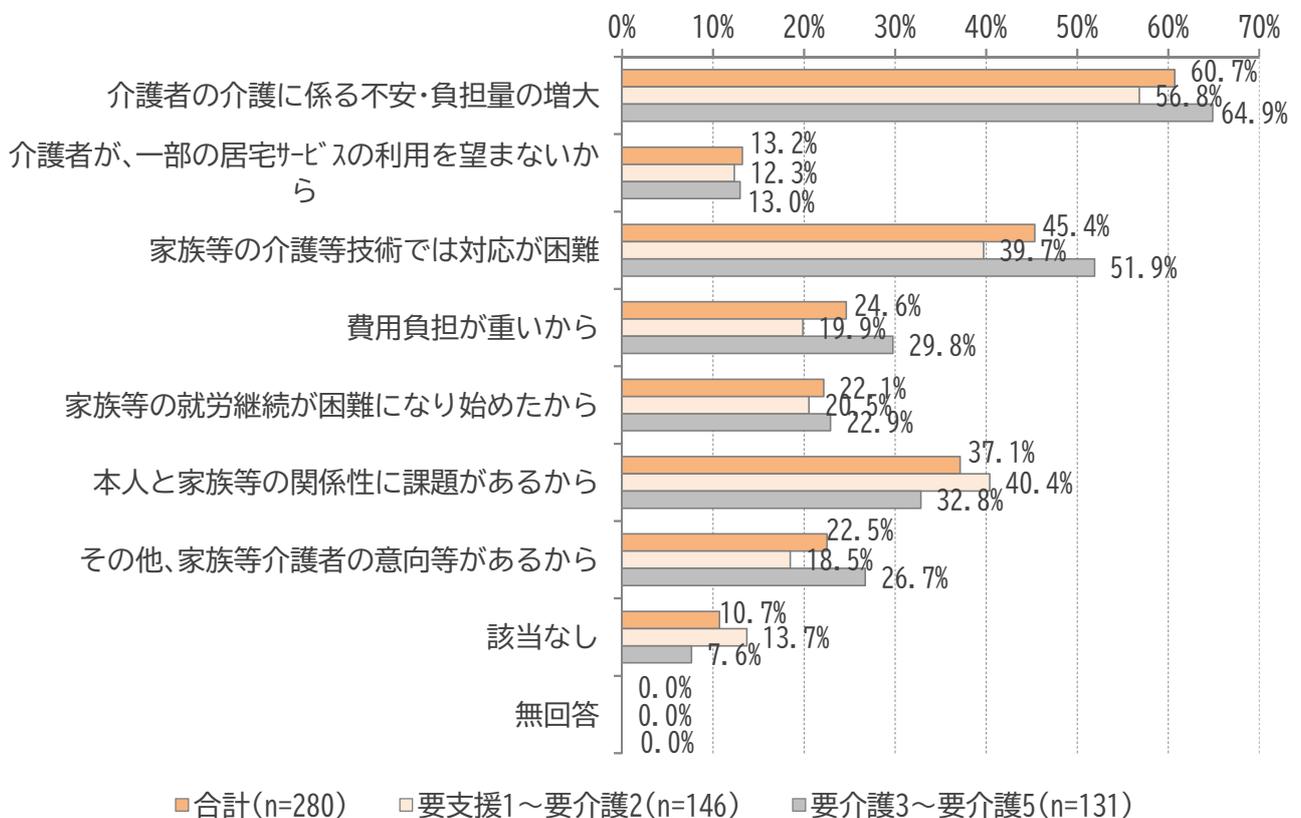
⑥ 「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な内容（複数回答）



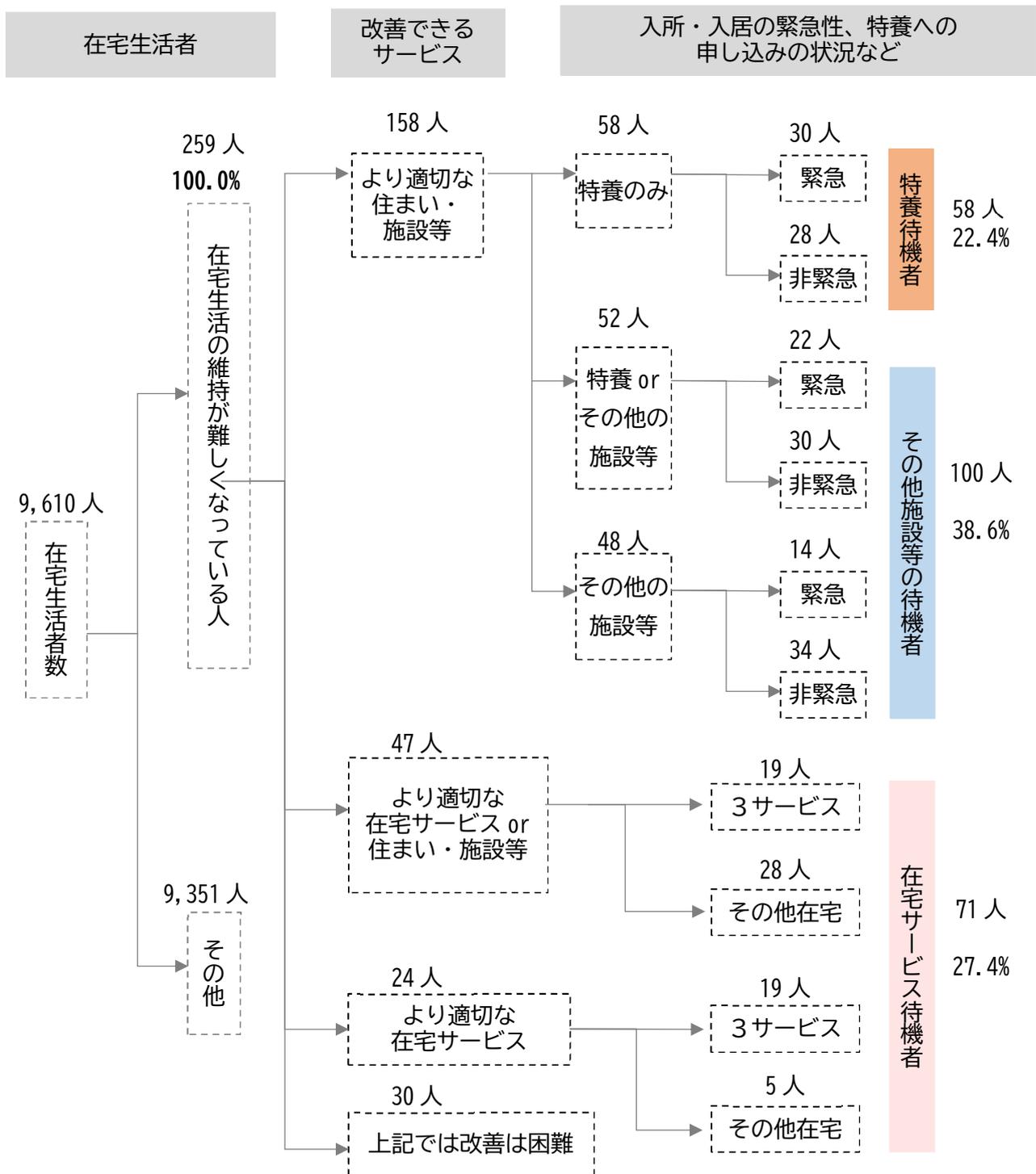
⑦ 生活の維持が難しくなっている理由（本人の意向に属する理由、複数回答）



⑧ 生活の維持が難しくなっている理由（家族等介護者の意向・負担等に属する理由、複数回答）



⑨ 「生活の維持が難しくなっている人」の生活の改善に必要なサービス変更



(注1) 「より適切な在宅サービス or 住まい・施設等」については、選択された在宅サービスで「住まい・施設等」を代替できるとして、「在宅サービス待機者」に分類しています。

(注2) 「生活の維持が難しくなっている人」の合計280人のうち、上記の分類が可能な259人について分類しています(分類不能な場合は「その他」に算入しています)。割合(%)は、259人を分母として算出したものです。

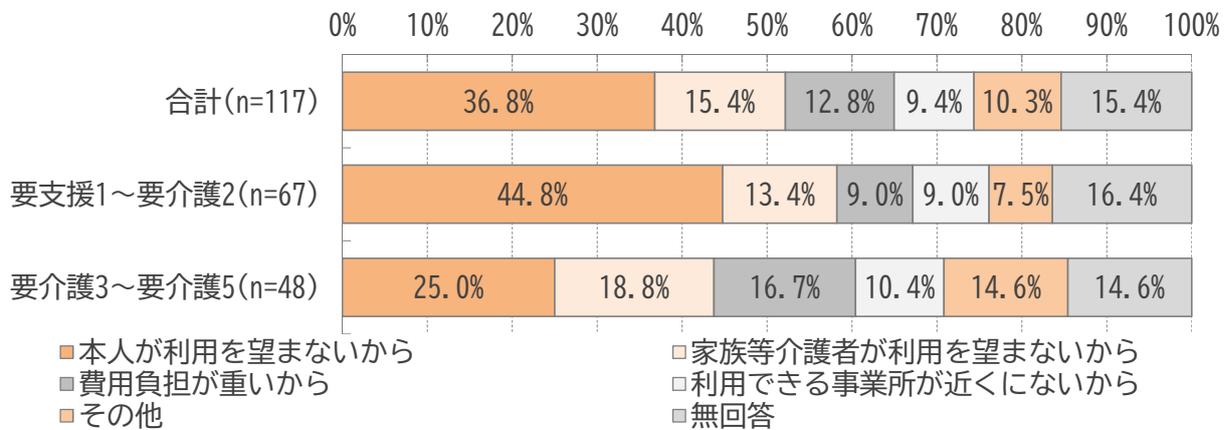
(注3) 「非緊急」には、緊急度について「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」「その他」と答えた方と無回答の方を含めています。

⑩ 「その他施設等の待機者」と「在宅サービス待機者」の生活の改善に必要なサービス
(複数回答)

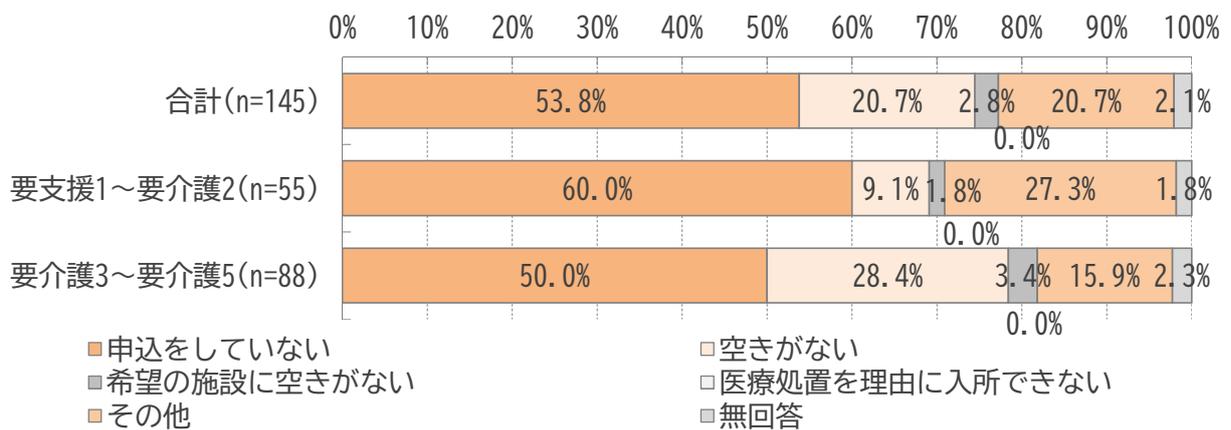
生活の改善に必要なサービス	その他施設等の待機者(100人)			在宅サービス待機者(71人)		
	サービス	人数	割合	サービス	人数	割合
住まい・施設等	住宅型有料	19人	19.0%	住宅型有料	12人	16.9%
	サ高住	7人	7.0%	サ高住	9人	12.7%
	軽費老人ホーム	9人	9.0%	軽費老人ホーム	4人	5.6%
	グループホーム	47人	47.0%	グループホーム	18人	25.4%
	特定施設	24人	24.0%	特定施設	9人	12.7%
	介護老人保健施設	21人	21.0%	介護老人保健施設	11人	15.5%
	療養型・介護医療院	8人	8.0%	療養型・介護医療院	3人	4.2%
	特別養護老人ホーム	52人	52.0%	特別養護老人ホーム	35人	49.3%
在宅サービス	-	-	-	ショートステイ	37人	52.1%
	-	-	-	訪問介護、訪問入浴	17人	23.9%
	-	-	-	夜間対応型訪問介護	12人	16.9%
	-	-	-	訪問看護	10人	14.1%
	-	-	-	訪問リハ	4人	5.6%
	-	-	-	通所介護、通所リハ、 認知症対応型通所	24人	33.8%
	-	-	-	定期巡回サービス	12人	16.9%
	-	-	-	小規模多機能 看護小規模多機能	22人 13人	31.0% 18.3%

生活の改善に向けて、代替が可能

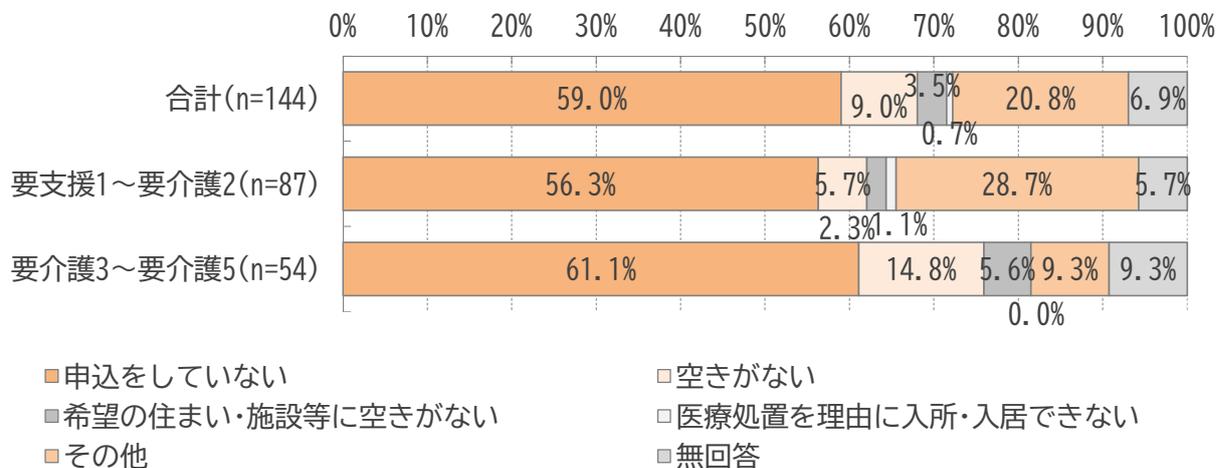
⑪ 在宅サービスを利用できていない理由（改善に必要なサービスで、在宅サービスを選択した人）



⑫ 特養に入所できていない理由（改善に必要なサービスで、特養を選択した人）



⑬ 特養以外の住まい・施設等に入所・入居できていない理由（改善に必要なサービスで、特養以外の施設・住まい等を選択した人）



在宅生活改善調査 事業所票



令和4年(2022年)10月1日現在の状況について、ご回答ください。
回答は12月16日までに、e-kanagawaの電子申請で行ってください。
回答先のURLは以下の通りです。右のQRコードからもアクセスできます。
https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142018-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=41765
なお、どうしても電子回答が難しい場合は、FAXにてご回答ください。(FAX:046-827-8845)
以下は設問を参考掲示しています。

◎利用者についての問いは、横須賀市の被保険者についてのみご回答ください。

問1 貴事業所の概要についてご回答ください。

(1)貴事業所の名称	()
(2)該当するサービス種別	1 居宅介護支援事業所 2 小規模多機能型居宅介護 3 看護小規模多機能型居宅介護
(3)所属するケアマネジャーの人数(非常勤含む)	()人
(4)「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)」にお住まいの利用者数	()人
(5)「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	()人

ここからは、貴事業所において、過去1年の間(令和3年10月1日～令和4年9月30日)に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者」についてお尋ねします。

問2 貴事業所において、過去1年の間に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)から、居場所を変更した利用者数」を、要介護度別にご記入ください。

※一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方、亡くなった方は含めないでください。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
()人	()人★						

問3 貴事業所において、過去1年の間に「自宅等(サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く)」から、居場所を変更した利用者数を行先別にご記入ください。

※一時的に入院して自宅等以外の場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。

※ここでご記入いただいた(1)～(14)の合計と、問2でご記入いただいた合計人数(★欄)が一致することをご確認ください。

	横須賀市内	市外
(1)兄弟・子ども・親戚等の家	()人	()人
(2)住宅型有料老人ホーム	()人	()人
(3)軽費老人ホーム(特定施設除く)	()人	()人
(4)サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	()人	()人
(5)認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	()人	()人
(6)特定施設入居者生活介護	()人	()人
(7)地域密着型特定施設入居者生活介護		()人
(8)介護老人保健施設	()人	()人
(9)介護療養型医療施設・介護医療院		()人
(10)「(9)」を除く病院・診療所(一時的な入院を除く)	()人	()人
(11)介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	()人	()人
(12)地域密着型介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)		()人
(13)その他	()人	()人
(14)行き先を把握していない		()人
合計		()人★
(15)死亡(※搬送先での死亡を含む)		()人

問4 問3でご回答いただいた利用者の居場所変更の理由として、多いのはどれですか。3つまでご回答ください。

1. 必要な生活支援の発生・増大
2. 必要な身体介護の増大 ⇒ 問5もご回答ください
3. 認知症の症状の悪化 ⇒ 問6もご回答ください
4. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり ⇒ 問7もご回答ください
5. その他、本人の状態等の悪化
6. 本人の状態等の改善

問5 問4で「2. 必要な身体介護の増大」を選択した場合、理由となる具体的な「身体介護」として多いのはどれですか。3つまでご回答ください。

- | | | |
|-------------|-----------|---------|
| 1. 見守り・付き添い | 2. 移乗・移動 | 3. 食事摂取 |
| 4. 排泄(日中) | 5. 排泄(夜間) | 6. 入浴 |
| 7. 更衣・整容 | 8. その他() | |

問6 問4で「3. 認知症の症状の悪化」を選択した場合、理由となる、具体的な「認知症の症状」として多いのはどれですか。3つまでご回答ください。

- | | | |
|-----------------|--------------|-----------|
| 1. 家事に支障がある | 2. 一人での外出が困難 | 3. 薬の飲み忘れ |
| 4. 金銭管理が困難 | 5. 意欲の低下 | 6. 徘徊がある |
| 7. 暴言・暴力などがある | 8. 強い介護拒否がある | 9. 深夜の対応 |
| 10. 近隣住民等とのトラブル | 11. その他() | |

問7 問4で「4. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」を選択した場合、理由となる、具体的な「医療的ケア・医療処置」として多いのはどれですか。3つまでご回答ください。

- | | | | |
|----------|-------------|------------|------------|
| 1. 点滴の管理 | 2. 中心静脈栄養 | 3. 透析 | 4. ストーマの処置 |
| 5. 酸素療法 | 6. レスピレーター | 7. 気管切開の処置 | 8. 疼痛の看護 |
| 9. 経管栄養 | 10. モニター測定 | 11. 褥瘡の処置 | 12. カテーテル |
| 13. 喀痰吸引 | 14. インスリン注射 | 15. その他() | |

以上で質問は終わりです。調査へのご協力ありがとうございました。

在宅生活改善調査 利用者票



令和4年(2022年)10月1日現在の状況について、ご回答ください。
回答は12月16日までに、e-kanagawaの電子申請で行ってください。
回答先のURLは以下の通りです。右のQRコードからもアクセスできます。

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142018-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=41690

なお、電子回答が難しい場合は、FAXにてご回答ください。(FAX:046-827-8845)

問1-1から問3-6は対象となる利用者ごとにお聞きしている質問です。各設問について、対象者ごとにご回答くださるようお願いいたします。

対象者が複数いて、且つFAXで回答する場合は、
「調査要綱別紙」裏の回答用紙をご利用ください。

以下は設問を参考掲示しています。

○ご所属の事業所名をご記入ください。

○「調査要綱別紙」のフローにしたがって利用者を抽出した結果、該当する利用者はいましたか。

1. いない ⇒ 問4へ 2. いる ⇒ ()人

1. 対象となる利用者の状況等について、お伺いします。

問1-1 世帯類型を選択してください。(1つを選択)

1. 独居 2. 夫婦のみ 3. 単身の子供との同居 4. その他の同居

問1-2 現在の居所を選択してください。(1つを選択)

1. 自宅等(持ち家) 2. 自宅等(借家) 3. 住宅型有料 4. サ高住 5. 軽費老人ホーム

問1-3 要支援・要介護度を選択してください。(1つを選択)

1. 要支援1 2. 要支援2 3. 要介護1 4. 要介護2
5. 要介護3 6. 要介護4 7. 要介護5 8. 新規申請中

(次ページへ続きます)

2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について、お伺いします。

問2-1

(1)本人の状態等に属する理由について、お答えください。(あてはまる番号すべてを選択)

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 該当なし | 2. 必要な生活支援の発生・増大 |
| 3. 必要な身体介護の増大 ⇒ (2)も要回答 | |
| 4. 認知症の症状の悪化 ⇒ (3)も要回答 | |
| 5. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり ⇒ (4)も要回答 | |
| 6. その他、本人の状態等の悪化 | 7. 本人の状態等の改善 |

(2)(1)で「3. 必要な身体介護の増大」を選択した場合

理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください。(あてはまる番号すべてを選択)

- | | | | |
|-------------|----------|----------|-----------|
| 1. 見守り・付き添い | 2. 移乗・移動 | 3. 食事摂取 | 4. 排泄(日中) |
| 5. 排泄(夜間) | 6. 入浴 | 7. 更衣・整容 | 8. その他 |

(3)(1)で「4. 認知症の症状の悪化」を選択した場合

理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください。(あてはまる番号すべてを選択)

- | | | |
|-----------------|--------------|-----------|
| 1. 家事に支障がある | 2. 一人での外出が困難 | 3. 薬の飲み忘れ |
| 4. 金銭管理が困難 | 5. 意欲の低下 | 6. 徘徊がある |
| 7. 暴言・暴力などがある | 8. 強い介護拒否がある | 9. 深夜の対応 |
| 10. 近隣住民等とのトラブル | 11. その他 | |

(4)(1)で「5. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」を選択した場合

理由となる、具体的な「医療的ケア」「医療措置」をお答えください
(あてはまる番号すべてを選択)

- | | | | |
|----------|-------------|------------|------------|
| 1. 点滴の管理 | 2. 中心静脈栄養 | 3. 透析 | 4. ストーマの処置 |
| 5. 酸素療法 | 6. レスピレーター | 7. 気管切開の処置 | 8. 疼痛の看護 |
| 9. 経管栄養 | 10. モニター測定 | 11. 褥瘡の処置 | 12. カテーテル |
| 13. 喀痰吸引 | 14. インスリン注射 | 15. その他 | |

問2-2 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください

(あてはまる番号すべてを選択)

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 該当なし | 2. 本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから |
| 3. 生活不安が大きいから | 4. 居住環境が不便だから |
| 5. 本人が介護者の負担の軽減を望むから | |
| 6. 費用負担が重いから | 7. その他、本人の意向等があるから |

問2-3 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください
(あてはまる番号すべてを選択)

- 1.該当なし
- 2.介護者の介護に係る不安・負担量の増大
- 3.介護者が、一部の居宅サービスの利用を望まないから
- 4.家族等の介護等技術では対応が困難
- 5.費用負担が重いから
- 6.家族等の就労継続が困難になり始めたから
- 7.本人と家族等の関係性に課題があるから
- 8.その他、家族等介護者の意向等があるから

3.「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お伺いします。

問3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。実際にサービスがあるかないかに関わらず、利用者にとって適切と思うサービスを選択してください。(1つを選択)

※「在宅サービス」と「住まい・施設等」の定義は、問3-2を参照

- 1.より適切な「在宅サービス」に変更する(例:小多機能等)
- 2.より適切な「住まい・施設等」に変更する(例:サ高住への入居、特養への入所等)
- 3.より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する
(例:定期巡回の利用、もしくは特養への入所が適切等)
- 4.「1」～「3」では、改善は難しいと思う ⇒ 回答終了

問3-2 問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください(あてはまる番号すべてを選択)

〈在宅サービス〉

- | | | |
|-------------|----------------------|---|
| 1.ショートステイ | 2.訪問介護、訪問入浴 | } 問3-3ハ |
| 3.夜間対応型訪問介護 | 4.訪問看護 | |
| 5.訪問リハ | 6.通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 | |
| 7.定期巡回サービス | 8.小規模多機能 | |
| 9.看護小規模多機能 | | |

〈住まい・施設等〉

- | | | |
|--------------|------------------------|---|
| 10.住宅型有料 | 11.サ高住(特定施設除く) | } 問3-4ハ |
| 12.軽費老人ホーム | 13.グループホーム | |
| 14.特定施設 | 15.介護老人保健施設 | |
| 16.療養型・介護医療院 | 17.介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) | |
| | | |

